

教員名	野崎謙二	所属学科	国際学科
<p>【ゼミでは何を学ぶのか】</p> <p>本ゼミでは、経済活動の国際化が進む中で、日本との関係が強い地域での物、サービス、人の移動がどう進展しているのかを実際の事例を調べながら勉強します。</p> <p>具体的には、2015年末に経済共同体が発足したASEAN(東南アジア諸国連合)の経済連携、日本から進出している企業の活動について調べていき、経済の国際化を実感できるようにしたいと思います。</p>			
<p>【どのように学ぶのか】</p> <p>2年次の基礎演習においては、ASEANについて解説した入門書を読みながら、ASEAN各国の経済状況や域内の格差問題、経済連携について学習します。その過程で、実際に統計資料の収集・分析を行い、経済分析に慣れていきます。また、単なる経済分析にとどまらず、地域に特徴的な文化・習慣などについても理解を深めます。</p> <p>3年次の演習Ⅰでは、研究の対象地域、テーマを絞り込み、文献資料や統計資料を活用してゼミとしての報告資料を取りまとめる予定です。それらを活用して、他大学のゼミとの交流も行っていきたいと考えています。こうした活動の中から、ゼミ生それぞれのテーマを固めていきます。</p> <p>4年次の演習Ⅱでは、各自の卒業論文を完成させることが最終目標になります。その過程でゼミ内での議論を行い、発表の訓練だけでなく、他者の発表に対して質問や意見を述べる習慣、スキルを身に着けます。</p> <p>本ゼミでは、授業時間以外に様々なフィールドワークを取り入れていきたいと考えています。特に、3年次の夏休みには、タイ北部にある大学の協力を得て英語による国際交流や国境地域の経済開発について学習することを計画しています。それ以外にも、学生の自主的な企画による企業・機関訪問を推奨し、できる限りサポートしていきます。それにより、自ら積極的に課題を設定し、その解決に向けて取り組む姿勢を身に付けてもらいます。</p>			
<p>【学んだことはどのように生かせるのか】</p> <p>現代社会では、常に国際社会の一員として生きていきます。そのため、将来どのような職場で活躍するとしても、国際的な視点で、かつ資料に基づく客観的な分析により物事を判断できる人材となることが期待されます。</p>			
<p>【おすすめの入門書・基本テキスト】</p> <p>みずほ総合研究所「図解 ASEANを読み解く(第2版)」東洋経済新報社、2018年 薄木秀夫「メコン発 アジアの新時代」凱風社、2004年</p>			
<p>【まだ見ぬ君へのメッセージ】</p> <p>国際学科では、海外にいるときはもちろん、国内にいても私たちの日常生活が世界と深いつながりを持つことを実感しながら学習できます。そのために、私たち教員も様々なプログラムを用意していますので、ぜひ一緒に勉強しましょう。</p>			